

令和7年度第1回福岡市スポーツ推進審議会 議事録

<開催日時> 令和8年3月3日（火） 15：30～ 16：37

<開催場所> アクロス福岡6階 608会議室

<出席委員> 10名（欠席4名）

原田 清子 委員、見野 由美子 委員、齋藤 光子 委員、
工藤 麻子 委員、兄井 彰 委員、早渕 仁美 委員、
深田 忠徳 委員、小沢 加代子 委員、森 春樹 委員、
赤池 潤 委員

<説明のため出席した事務局職員> 6名

平山スポーツ推進部長、
金丸スポーツ推進課長、山下スポーツ施設課長、
不動寺スポーツ事業課長
ほか2名

<議題及び報告事項>

○ 議題

- （1）福岡市スポーツ推進審議会 会長、副会長の選任について
- （2）令和8年度当初予算案におけるスポーツ振興関連団体への補助金（案）について

○ 報告

- （1）福岡市スポーツ推進計画の取組みについて
- （2）令和8年度スポーツ振興にかかる主な事業について

<協議要旨>

○ 開会

（事務局）

- ・ 本日の出席委員数は、全14名のうち、10名で、委員の過半数を超えているため、福岡市スポーツ推進審議会条例第7条の規定に基づき、本日の会議が成立することを報告する。

○ 議題

(1) 福岡市スポーツ推進審議会 会長、副会長の選任について

(事務局)

- ・本会議の運営にあたり、福岡市スポーツ推進審議会条例第6条により、会長・副会長を各1名、委員の互選により選出する。特に意見がないようであれば、事務局案を提示させていただきたいと思うがどうか。

(各委員)

- ・意見等なし

(事務局)

- ・では、事務局から会長に早淵委員、副会長に齋藤委員を提案させていただく。

(各委員)

- ・異議なし

(事務局)

- ・会長に早淵委員、副会長に齋藤委員を選出することに決定した。ここからの進行は早淵会長にお願いします。

○ 議題

(2) 令和8年度当初予算案におけるスポーツ振興関連団体への補助金(案)について

(会 長)

- ・事務局から説明をお願いします。

(事務局)

- ・資料1に沿って説明。

(会 長)

- ・説明について、ご意見、ご質問等がある委員は挙手のうえ、発言をお願いします。

(委 員)

- ・社会全体で物価高騰しており、その影響などもあるだろうと思われるが、前

年同額とした理由について教えてもらいたい。

(事務局)

- ・団体と協議を行い、事業毎に積算の上、同額となったもの。

(委員)

- ・市から毎年補助金をいただけることに対してありがたく思っている。一方、例えばボランティアに対する交通費等の経費にも物価高の影響はあり、先程の意見も理解できる。

(委員)

- ・補助金だけでなく会費も含めて運営を行っており、特に問題はない。

(会長)

- ・他にご意見等ないか。本件についてはご了承いただいたということで進めてよいか。

(各委員)

- ・異議なし

(会長)

- ・議題については以上とする。

○ 報告

- (1) 福岡市スポーツ推進計画の取組みについて
- (2) 令和8年度スポーツ振興にかかる主な事業について

(会長)

- ・事務局から説明をお願いする。

(事務局)

- ・資料2、3に沿って説明。

(会長)

- ・説明について、ご意見、ご質問等がある委員は挙手のうえ、発言をお願いする。また、本日の議事にかかわらず、委員それぞれの立場から、最近のスポーツの動向に関する意見、質問等があれば併せてお願いする。

(委 員)

- ・資料2の P8 のスケートボード場について非常に良い取り組みだと感じた。スケートボードはオリンピックでも音楽を聴きながら競技をする選手もいる。本施設もスケートボードができるだけでなく、音楽やファッション、アートなどサブカルチャーとミックスした施設の在り方が生まれてくると市民にとってより良いものになるのではないかと思う。

(事務局)

- ・施設整備については経済観光文化局が所管ではあるが、スケートボードについては東京オリンピックを契機に人気が高まっており、ボートレース福岡に子どもたちが安全に練習でき、初心者から上級者まで誰もが楽しむことができるスケートボードの整備が進められているところである。スケートボードパークだけでなくにぎわい施設等も含めて、市民が集まることができる施設となるような構想があるので、市民局としても経済観光文化局や競技団体等と連携しながらスポーツの振興に取り組んでまいりたいと考えている。

(委 員)

- ・計画の目標に「する・みる・ささえる」とあるが、文科省が定める小学校・中学校の学習指導要領にも、「する、みる、支える、知る」という運動との多様な関わり方を考えることで豊かなスポーツライフを実現する、という文言がある。中学校は部活動があるが、小学校では運動の楽しさを実感できる授業をどう作っていき、日常化に繋げていくか、市の取組も意識しながら小学校のこれからの繋げる必要があると感じた。

(委 員)

- ・中体連において、今年度は福岡市で柔道の全国大会を開催した。会場は市民体育館・総合体育館で、全国各地から「こんな素晴らしい施設で大規模大会ができるのは羨ましい」と言われるなど素晴らしい大会を開催できたが、先日行った名古屋ではアジア大会等もあり、素晴らしい施設ができていた。福岡市は九州の中でトップを走っている市町村なので、施設改修をしながらより全国規模の大会が多くできる施設が増えれば良いなと思う。
- ・現在、部活動が岐路に立っているが、様々な団体が教育委員会と連携しながら進めていく必要がある。「地域移行」から「地域展開」に言葉が変わり、部活動を完全に無くし地域に移行させる、というところから、学校も関わりながら今ある部活動をどう活かすかということにシフトしている中で、様々な方法を考えていきながら、基本は今ある部活と同様の活動を支えていくことは変わらない。

(会 長)

- ・部活動の話が出たが、学校と地域が連携する際のキーパーソンは誰になるのか。学校側なのか。

(委 員)

- ・福岡市としては、今ある部活動を存続させながら、地域の指導者を入れていくという方向であり、学校側が人材を探したり、教育委員会を通してスポーツの競技団体に声をかけたりすることで人材を集めることが始まっている。ボランティア的なところもあるので、今後改善すべき点かと思う。

(委 員)

- ・福岡市スポーツ協会にはスポーツリーダーバンクという制度があり、様々な指導者を育成しているが、中学校の指導者は約 360 人必要と聞いた。資格を持った指導者が足りず、学生や地域の方が部活指導に入るなど学校により差がある。
- ・各区の体育館は規模が小さく、今年度からは西区体育館が改修中のため利用できないが、次は早良体育館が改修予定のため、利用できる場所は狭まったまま。新しくできた武道館も県の施設ということもあり、なかなか利用できない。できれば体育館を増やしてほしい。
- ・市民体育館は雨漏りのため、何度か大会が中止となった。修理をお願いしたい。また、体育館駐車場の精算機や出口周辺が非常に暗く夜は見えにくいので、照明等の対応を検討してほしい。

(事務局)

- ・市民体育館の雨漏りについては、ご迷惑をおかけして大変申し訳ない。雨が降った時に競技棟の屋上から雨水が侵入し、競技場や観覧席に迷惑をかける状況が続いている。隣接する武道館の開館に合わせて駐車場の整備工事を 1 月末まで行っていたが、現在は雨水侵入対策として、屋上の防水工事を行っており、今後改善されていくものと考えている。整備した駐車場については、精算機周辺や武道館前通路が薄暗いこと、駐車場の出入口案内板のわかりにくさ等あるため、対策を検討している。利用者の安全が第一なので、できることをスポーツ協会とも協議しながら進めていきたい。

(委 員)

- ・最近の気づきを 3 点話したい。1 つ目は「体育館は人のコミュニティの場である」ということ。西体育館の施設管理運営に関わる中で、西体育館は現在改修中で利用できないが、利用者の強い希望により、西区保健福祉センターの講堂でエクササイズ教室を月に一回実施している。他の体育館や

ジムは知り合いがいらないため利用しないという声もあり、コミュニティの場であると実感したところ。

- ・ 2つ目は「ニュースポーツには流行り廃りがある」こと。今モルックが非常に人気であり出前講座の依頼が多い。体育館やスポーツ施設だけではなく、公園で若い世代がモルックを行っているのを見かけたこともある。一方、加盟団体の中にユニカールやフォークダンスの団体があり、今の若い世代を取り込むのは難しく、高齢化が課題である。流行りを取り入れることでこれまでスポーツをしなかった人でもスポーツをするきっかけになるのではと感じた。
- ・ 3つ目は「スポーツに何かをかけあわせると面白いことが生まれるが、それは若い世代のアイデアを取り入れた方がより良いものができる」ということ。以前やったものは「あそび忍者になろう」というイベントで、ニュースポーツをメインとしたブース展開だが、スタンプラリーでカードを作り、攻略すると最後に親分に会えるという設定で、ストーリー性を加えたためか人気があった。そのストーリーを考えたのは若い世代だった。

(委 員)

- ・ 中学校の部活動の地域展開についてであるが、スポーツ推進委員は公民館区に2名ずつ配置されており、地域事情に精通していることから、地域展開の推進に協力するよう県スポーツ推進委員協議会から求められている。他都市では総合型地域スポーツクラブを中心に仕組みづくりが進んでいるところもあるが、福岡市では、教育委員会から具体的な依頼がないと自分たちからはなかなか動けない状況である。
- ・ コロナを契機に今までスポーツに関わっていた人がやめてしまい、スポーツをする人口が減ったと感じる。例えばレディースソフトボールについていえば、参加団体が減り校区大会の開催ができなくなるなど、一度なくなったものを増やしていくことの難しさを感じている。
- ・ 委員よりモルックが流行っているという意見があったが、推進委員でも地域でモルックを広めていくための研修を受けた。天候に左右されない屋内でのモルックの道具もある。高齢になっても気軽に参加でき、スポーツが楽しいものだ体験できるようなスポーツをこれからも地域で広めていきたい。

(会 長)

- ・ 学校と地域との連携については課題があるようだが、事務局から、教育委員会には審議会で見解が出ている旨伝えてほしい。

(委 員)

- ・ する・みる・ささえるの中では施設はささえる側になり、利用者の安心安

全を第一に毎日施設の維持に努めている。市民体育館の雨漏りについては、市にも迅速に対応いただき助かった。大会が急遽中止となった際に、九産大の施設を代替施設として貸していただいたこともあり、大変助かった。3月末までで防水工事を行っているので、今後は滞りなく試合できるかと思う。

- ・ニュースポーツについての意見があったが、市民体育館では試合会場だけでなく、ニュースポーツ用具の貸し出しも行っている。しかしながら、老朽化しているものもあり、また、流行りがある中、モルックは所有していない。今後、用品の見直しを行うのか知りたい。地域の団体など少なくとも月10団体には貸し出しを行っている。

(事務局)

- ・体育館においてニュースポーツ用具に限らず古くなった備品は買い換えているところであり、指定管理者が指定管理料の中で購入したり、市が購入したりするなどして対応している。個別の状況を把握できていないところもあるので確認し、対応できるところがあればしっかり対応したい。また相談させてほしい。

(委員)

- ・普段城南区の公民館で活動しているため、城南区のことについてであるが、人生100年時代ということで高齢者の健康づくりについては公民館事業として実施している。城南区ではモルックは2年前に流行ったニュースポーツであり、今はeスポーツが流行っている。2～3年前に、城南区がモデル校区と決まり公民館館長主事全員研修を受けて、以前は市に道具を借りて実施していたが、今は城南区のほとんどの公民館がeスポーツの道具を持っている。また、令和7年から福岡大学の学生と連携し、フレイル予防とeスポーツを組み合わせた教室を公民館で実施した。公民館でもモルックを所有しており、未就学児用のスポンジタイプのモルックもあって、子ども達も喜んでやっている。学校施設開放にも公民館は携わっており、学校の体育館もよく雨漏りする。何回修理しても雨漏りする状況である。

(会長)

- ・忌憚ない意見いただき、課題もあった。今後も情報共有しながら市の方で進めていただきたい。事務局より意見あるか。

(事務局)

- ・各委員においては、大変貴重な意見をいただきありがたいと思う。全体的な

話として、コロナがあってそこから3～4年経ち、週に1回以上スポーツをする割合も回復して、世間の空気感的にもコロナというよりは平常に戻ってきたのではという受け止めもある中、先ほどの委員の意見の中で、個別で見たら地域でなくなったチームは戻っていないことや、公民館ではeスポーツが流行っていること、スポーツにプラスのかけあわせが重要、など貴重な意見をいただいた。

- ・スポーツ施設に関しても意見をいただいたが、来年度は今まで実施する施設が少なかったスケートボード場の新設に加えて、今宿野外活動センターやプールのリニューアル、福祉局においては障がい者スポーツセンターについてこれまでの機能に加えて、パラスポーツの盛り上がりもあり、さらに機能強化できないかということで検討していきたいと考えている。
- ・様々な視点からのスポーツ振興についての意見は、難しい面もあるが、プラスにしていけることも多いと思うので、本日いただいた意見を関係部署に伝えながら、全市的に更なる推進を図っていきたい。

(会 長)

- ・以上で、議題2件と報告事項2件がすべて終了した。他に意見等ないか。

(各委員)

- ・なし

(会 長)

- ・これをもって本日の審議会を終了する。

○ 会議終了